

事業所における自己評価結果							
事業所名		公表日					
ハピー仙台長町南駅前教室		2025年10月1日					
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・集団支援や、狭い部屋での支援の際、事前に確認をしております。 ・支援内容に合わせて使用する部屋を工夫しています。 ・その際には事前に了承を得て支援内容を調整するなどの工夫を行っています。 		<ul style="list-style-type: none"> ・集団支援の人数が多い時などは部屋を分けるなど、工夫してまいります。 	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	4			<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の様子や集団の人数に合わせて、適切な配置が出来るよう努めてまいります。 	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋に動物のマークを付けて分かりやすくしています。 ・窓のない教室環境の為、気が散りにくく構造化が図られていると感じています。 		<ul style="list-style-type: none"> ・トイレや手洗い場が他テナントと共有になっているためお子様には使いづらい時があるため、足台を設置するなど環境を整えてまいります。 	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝掃除をしているので綺麗にしております。 			
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回個別の部屋を使用しています。 		<ul style="list-style-type: none"> ・狭い部屋をご案内することもございますが、お子様の様子やニーズに合わせて支援を行えるように設定してまいります。 	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議だけでなく、日頃の朝終礼で気になるところを共有し話し合っています。 ・職員同士でよく話し合える雰囲気作りはできていると思います。 		<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容や業務内容を見直しつつ、職員が働きやすい環境を整えてまいります。 	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート等はそれぞれの職員が目を通して回答を把握しています。 			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・日々気になる箇所を話し合っています。 		<ul style="list-style-type: none"> ・都度職員の面談を実施し、その内容を踏まえて業務改善に努めています。 	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3	<ul style="list-style-type: none"> ・エリアマネージャーなどが来所し、面談の時間を頂いています。 		<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価は現在行っておりません。 	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0				
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0				
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0				
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0				
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0				
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0				
適切な支援の提供	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で必要な情報を共有し、直近の様子から個別ニーズに即した支援内容を考えることが出来ていると思います。 ・区分2の支援が増え、チームで話し合う機会が増えています。 		<ul style="list-style-type: none"> ・集団支援の際も職員で共通認識をもった支援が提供出来るように努めています。 	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・記録を毎回チェックしてから支援に入っています。 			
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0				

	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		
20	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2		・必ずしも難しい現状がありますが、朝終礼以外でも共有出来る場を設けてまいります。
21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・細かいことでも記録に残すよう心掛けています。	
22	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのごどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
24	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
25	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・様々な機関との関係性を大切にしています。	
26	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		・こちらの思いや目的を適切に理解して頂けるように、職員一同研鑽を重ねてまいります。
27	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	8	0	・ご希望の方には就学時引継ぎシートを作成しております。	
28	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
29	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
30	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2		・助言を頂ける機会はあまりないですが、担当者会議などお様に聞いての情報共有を行っています。
31	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	7	・通所しているお子様がそれぞれ園に所属しているので、それぞれで交流の場があると思います。	・現時点ではございませんが、今後はイベント等を通して活動する機会を検討していきたいと思います。
32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・こまめに気に掛け、必要に応じて相談支援を提案しています。	
33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアメント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	・オンライン家族支援は希望があれば気軽にできるようになっています。 ・茶話会等を定期的に実施し情報提供を行っています。	
34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・保護者様のニーズや希望に応じて丁寧にお伝えする時間を作り、同意が得られるようにしています。	
35	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
36	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
37	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・日々のフィードバックでも普段の様子をお伺いし、相談支援においてもいつでも対応可能なことを伝えていることで、相談したいと希望される保護者様が多くなっていると感じています。 ・一人ひとりの保護者様との信頼関係を大切に相談支援を実施しています。	
38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	・イベント等を通して実施できています。 ・定期的に茶話会などを実施しております。ごきょうだいもご参加いただけるイベントも実施しております。	
39	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1		・今後ブログ等を更新した際には教室内に案内文を掲示する等、多くの皆様にご覧いただけるような工夫を行ってまいります。

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・お伝えする際、使う言葉を工夫しています。 例「発達が遅い」→「発達がゆっくり」等	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8		・今後必要に応じて職員間で実施の検討をしてまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・防災イベント等も実施できています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0		咄嗟の判断や緊急対応が必要な場合に備え、情報は一覧化するなどして対応してまいります。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		・該当のお子様がいないため、今後必要に応じて対応してまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	関係機関や児童相談所への連携を迅速に図って対応しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0		